

- 東京医科歯科大学医学部附属病院の理念と基本方針
- 理念：安全良質な高度・先進医療を提供しつづける、社会に開かれた病院
 - 目標：1. 患者中心の良質な全人的医療の提供
2. 人間性豊かな医療人の育成
3. 高度先進医療の開発と実践
4. 国民のニーズに応える開かれた病院

医療連携支援センター (地域連携室) TEL: 03-5803-4655 FAX: 03-5803-0119



力学・生理学・解剖学を学び、パフォーマンス向上法を研究し続けています



スポーツ科学と医学の融合でアスリートをサポートするスポーツサイエンス機構



講演会「未知なる可能性に挑む」では多数の聴衆が真剣に耳を傾けました

講演「未知なる可能性に挑む」 演者：スポーツサイエンスセンター長(教授) 室伏広治

次世代アスリートの育成・支援に、医学・歯学の研究を生かし、国民の健康長寿に貢献する研究を進めます

オリンピック2004年アテネ大会で金メダル、2012年ロンドン大会で銅メダルに輝いた室伏広治が極めた競技はハンマー投げ。16ポンド、7.2キロのハンマーを時速100キロを超える速さで遠くまで飛ばし、その距離を競うスポーツで、世界のトップ選手の中にアジア人はいませんでした。

その頂点に立つために、日本流、自分流にパフォーマンス力を高める方法を考案する必要を感じ、力学、生理学、解剖学などを学び、「スポーツバイオメカニクス」を自分自身の研究テーマにして、競技活動とともに研究活動も続けました。

ところが2014年、日本陸上競技選手権での20連覇達成を目前に、激しい腹痛に襲われ、東京医科歯科大学医学部附属病院に入院し、盲腸と判明。目前に迫る大会を考慮した当院の医師たちのチーム医療によって、手術せずに約1週間の治療でトレーニングに復帰し、見事に前人未達の20連覇を達成しました。これが縁となって、スポーツサイエンス機構が誕生したのです。

「年齢を重ねても長く競技を続けようと努力する中で、医学・医療に助けられることが多くなり、自分のアスリートとしての経験と、研究者としての実績を、医学と歯学に活用して、次世代のアスリート支援に貢献したいと思い、センター長をお引き受けしました」とこれまでの経緯と今後の抱負を話しました。



メールマガジンにご登録ください!

医療連携支援センターでは、メールマガジンを発行しております。当院ホームページより医療連携支援センターにアクセスし、オレンジ色の「メルマガ申込」からご登録ください。



JR東日本：中央線・総武線 御茶ノ水駅下車 御茶ノ水橋口(徒歩5分)
東京メトロ(地下鉄)：丸ノ内線 御茶ノ水駅下車東京医科歯科大学方面出口(徒歩1分) / 千代田線 新御茶ノ水駅下車 B1出口(徒歩7分)

東京医科歯科大学医学部附属病院 医療連携だより 9号
発行 〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45 東京医科歯科大学医学部附属病院医療連携支援センター TEL:03-5803-4655 FAX:03-5803-0119
http://www.tmd.ac.jp/medhospital/renkei/

本書の無断複製(コピー)は著作権法上での例外を除き、禁じられています。

医療連携だより

平成26年度地域医療懇談会が開催されました



医療連携の充実を推進いたします

医療連携支援センター長(病院長補佐) 泉山 肇



平成27年2月19日、昨年度に引き続き地域医療機関の皆様との更なる連携強化をはかるため平成26年度地域連携懇談会を開催させていただきました。お陰様で150名をこえる多くの皆様にお越しいただき盛会のうちに終わることができました。厚く御礼申し上げます。紹介・逆紹介あるいは転院調整等の前方・後方連携の重要性を十分に認識すると共に、地域医療機関との機能分化に積極的に取り組み、地域社会に安全で質の高い医療を提供できるよう医療連携を推進してまいります。今後とも、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

医療連携支援センターの役割

- 紹介患者さんのスムーズな受け入れ
- 医療機関からの初診事前予約受付
- 入院・退院患者さんとそのご家族のサポート
- その他の医療・福祉相談

TOPICS

- 医療連携支援センター長より御礼申し上げます
- 平成26年度地域医療懇談会が開催されました
- プログラム
- 学長挨拶
- 病院長挨拶
- 懇談会について
- 講演会の要旨





プログラム

第1部 講演会

司会 医療連携支援センター長(病院長補佐) 泉山 肇
 開会挨拶 病院長 木原和徳
 講演 「未知なる可能性に挑む」
 演者 スポーツサイエンスセンター長 室伏広治

第2部 懇親会

司会 医療支援課長 亘 治彦
 開会挨拶 学長 吉澤靖之
 来賓紹介 千代田区医師会会長 泉田秀輝 様
 江東区医師会会長 岡本克郎 様
 文京区医師会会長 熊谷みどり 様
 浅草医師会会長 佐々木 聡 様
 小石川医師会会長 須田 均 様
 足立区医師会会長 須藤秀明 様
 江戸川区医師会会長 玉城 繁 様
 神田医師会副会長 林 久太佳 様
 (五十音順)
 文京区歯科医師会会長 安東治家 様
 文京区小石川歯科医師会会長 佐藤文彦 様
 (五十音順)
 文京区薬剤師会副会長 新井 悟 様
 乾杯 理事 田中雄二郎 様
 (ご歓談)
 閉会挨拶 副病院長(地域連携担当) 下門顕太郎 様

地域医療懇談会が開催されました

平成27年2月19日、平成25年度に引き続き、第2回目となる平成26年度地域医療懇談会が開催されました。病院・クリニックなど125機関の関係者にご参加いただき、顔の見える交流が活発に行われ、日頃お世話になっている地域医療機関の皆様とさまざまな意見交換をすることができました。

第1部 講演会 Conference

第2部 懇談会 Post Conference Party

「未知なる可能性に挑む」

顔の見える交流で 作業もよりスムーズに



東京医科歯科大学学長・吉澤靖之

平成26年度地域医療懇談会にご参加いただきありがとうございます。東京医科歯科大学医学部附属病院では、患者窓口の一本化を図ることで皆様との連携を強化すべく取り組んでまいりました。また大学としては、今回講演をした室伏広治を招聘し、スポーツサイエンス機構を新たに設置するなど、医学部附属病院が大学ならではの医療を提供できるよう、また機能分化に基づいた医療を提供できるよう、今後も真摯に取り組んでまいりたいと考えております。



東京医科歯科大学医学部附属病院長・木原和徳

地域医療懇談会が盛会のうちに終了いたしました。今後も医療連携支援センターのサービスを一層充実させ、すでに50%を超えた逆紹介率をさらに推進し、地域医療機関よりご紹介いただいた患者さんが心地良く過ごせる院内の環境を整備してまいりたいと存じます。紹介患者さんの電子カルテを閲覧して受診状況を確認できるシステムも稼働いたします。今後も、地域に密着した医療機関として、なお一層の連携強化を図っていく所存でございます。



スポーツサイエンスセンター長(教授)
室伏広治

平成26年10月に設置された「スポーツサイエンス機構」は、アスリートの一体的なケアとサポート、そしてスポーツ医歯学・スポーツ科学を融合した 国内初の大学による拠点として、スポーツサイエンスを国民の健康長寿に活用することを目標としています。今回の地域医療懇談会では、第1部の講演として、スポーツサイエンスセンター長で東京医科歯科大学教授、2004年オリンピック・アテネ大会金メダリストの室伏広治が登場しました。(講演の詳細については裏面をご覧ください。)

懇親会では、学長吉澤靖之の挨拶、理事田中雄二郎の乾杯に続き、医師会・歯科医師会・薬剤師会の代表の皆様よりご挨拶を賜りました。その後は、歓談をしながら、名刺交換や情報交換を行い、会場は活気にあふれました。懇親会にも参加した室伏広治の前には、記念撮影や握手などを求める長い列ができ、人気の高さを物語っていました。参加者からは「いつも電話やFAXでしかやり取りしていなかった人と実際に会うことで、明日からの作業がスムーズに進みそうです」、「地域医療機関の皆様の貴重な意見を伺うことができ、勉強になりました」などの意見がありました。

